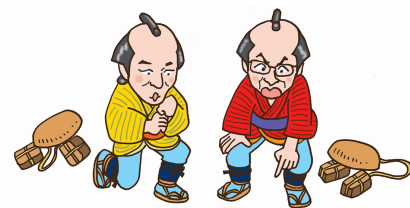


担当者
語る
発掘調査

30年
講座
連続講座 2

2016年8月7日(日) 13:30~
愛知県陶磁美術館 本館講堂
埋蔵文化財展「弥生への旅 朝日遺跡」



いわくらじんじゃ
新城市 石座神社遺跡

早野浩二

(愛知県埋蔵文化財センター 調査研究専門員)

だんじょうやま

キーワード：長篠・設楽原の戦い 大型建物 金属製品(破鏡) 断上山10号墳

かんぼうやま

【遺跡の景観】新城市大宮、雁峰山山麓、式内社石座神社の境内地

標高117mの上位段丘上に立地、下位の段丘との比高は約20m

丘陵の先端に断上山10号墳(全長50mの前方後方墳)

【調査の経緯】新東名高速道路建設に伴う発掘調査(平成28年早春、新東名高速道路開通)

【調査の経過】平成19年度に範囲確認調査、平成20年度から平成22年度に20,250㎡の発掘調査
平成24・25年度に整理作業・発掘調査報告書作成、平成26年度に印刷・刊行
過去10年間、愛知県埋蔵文化財センターが行った発掘調査で最大規模

【調査の成果】注目される6つのポイント

- 1 弥生時代後期から古墳時代前期(1世紀から3世紀後半)の竪穴建物336棟を検出
東三河において過去に調査された同時期の竪穴建物は369棟
- 2 集落全体の約半分を調査
大型竪穴建物32棟(6m以上)と大型掘立柱建物4棟を含む集落構成が明らかに!
- 3 2020.856Kgの同時期の土器が出土、2,860点を発掘調査報告書に掲載
出土土器の分析から10期に時期区分、40棟から80棟に200人から300人程度が居住と推計
- 4 金属製品(破鏡、鉄製品)の出土
集落出土の中国鏡の破鏡は高蔵遺跡、朝日遺跡に次ぐ例(東日本でも10例)
- 5 旧石器時代から縄文時代の石器・石製品が3,000点以上出土
ナイフ形石器を含む旧石器時代の遺物、有溝砥石、块状耳飾り2点を含む縄文時代の遺物
- 6 鉛製の鉄砲玉5点(「石座玉」)出土、鉛同位体比分析の結果はいずれも「日本産」
設楽原で見つかった鉄砲玉(合計17点)で発掘調査による初めての出土、最多の点数

お問い合わせ先



公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24

Tel. 0567-67-4163 Fax. 0567-67-3054

<http://www.maibun.com/top/>



